

公開講座「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」

11月3日（水）「文化の日」午後1時より約3時間にわたり、保健科学研究所公開講座が開催されました。当日は、雨曇りの不順な天候にもかかわらず、定員80名程度の会議室が満員となり、補助席も設けて総計102名（過去最高）の参加人数となりました。

この公開講座は毎年恒例のもので、「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」というテーマの下、3名の講師陣が専門分野の紹介をするスタイルをとっております。

今年は、1時限目：「フードファディズムと健康食品についてーあなたはメディアに惑わされていませんか？ー」（森山隆則教授）において、いわゆるダイエット食品の宣伝等の問題点、2時限目：「発達障害のニューロサイエンスー相手の感情を理解する脳ー」（福島順子教授）では、アスペルガー障害などの具体的な事例や最新の研究成果、3時限目：「車いすから見える座りの世界ー車いすのシーティングの進歩とオフィスチェアへの応用ー」（八田達夫教授）においては、障害者の車いすから健常者に対するオフィスチェアの開発とその設計方針、についての講演がなされました。

講演者は、SW2010の展開キーワード「健康・衛生・社会福祉・高齢化社会」にマッチしたこのようなタイムリーかつ興味深い内容を分かりやすく解説し、参加者からのアンケート回答でも、非常によい評価を受けました。また、それぞれの講演内容に対し、活発な質疑応答がなされ、テーマに対する関心の高さとともに、専門的内容に対する深い理解が伺えました。

多くの人たちのより良い生活を支援し得るよう、今後とも本公開講座を続けて行きたいと思います。



会場を埋め尽くす多くの参加者



森山隆則教授による講演の様子



質疑に答える福島順子教授



車いすを使って座りの解説をする八田達夫教授